

山 行 報 告 書

山行報告者 : 佐藤ゆ

山 域・山 名 : 阿弥陀岳南稜 P3 ルンゼ～御小屋尾根コース周回 (長野県茅野市)	
入山日 : 令和2年8月8日(土) 日帰り 帰宅予定日 : 8月8日(土)	
プラン担当者 正 : 齋藤 副 : -	
参 加 者	L : 齋藤 報 : 齋藤 記 : 齋藤 佐藤(優)
	男 1名、女 1名、計 2名
天 候 霧のち晴れ	
8月7日 (金)	集合時間 : 21時00分 集合場所 : 小山屋(うどん屋) 車移動 21:00 大宮⇒桶川北本 IC(圏央道)⇒八王子 JCT(中央道)⇒小淵沢 IC ⇒24:00 道の駅こぶちさわ or 富士見高原スキー場駐車場
8月8日 (土)	04:00 起床 車移動 04:30 道の駅こぶちさわ⇒05:00 舟山十字路駐車場 山行 05:15 舟山十字路→07:38 立場岳→7:56 青ナギ→8:31 無名峰→P3 ルンゼ→ 10:16 阿弥陀岳 10:57→御小屋尾根→12:57 御小屋山→14:00 船山十字路 車移動 15:40 舟山十字路駐車場⇒諏訪南 IC(中央道)⇒八王子 JCT(圏央道)⇒桶川北本 IC ⇒19:30 大宮 行動時間 : 8時間45分、高度差 : 1,187m(2,805m 阿弥陀岳-1,618m 舟山十字路)
荒天候時のエスケープルート : ルート引き返し	
装 備 と 食 糧	共同装備 : 齋藤 GPS、ロープ(シングル/60m/8.6mm)、クイックドロ-×5、スリング×5 共同食 : - 車提供者 : 齋藤
	個人装備 : ツェルト、ヘッドランプ、雨具、防寒衣、コンパス、地図、非常食、水、手袋、ヘルメット、 セフルビレイセット(ハーネス)、スリング、ビレイデバイス(ATC等)、ホイッスル、 お風呂セット 個人食 : -
感 想 & 要 注 意 事 項	自分にとっては、去年沢登りに2回参加させていただいた以来の、沢登り以外ではほぼ初めてのバリエーションルート山行。貴重な機会に胸を膨らませた。 当初の予定より1時間早く、4時に起床。準備&車で移動して、5:15 船山十字路から歩き始めた。 天気は霧。晴天では暑くて体力消耗しそうだったので却って良かったかもしれない。最初はアスファルトの道路で若干の傾斜がある。見た目には傾斜があまりわからないだけに、身体と荷物が重く感じられる。(次ページへ)

少し歩くと土の登山道に入っていく。いきなりの超急登（45度くらいある）。いったんちょっとした尾根のようなところに出たが、少し道が不明瞭。慎重に道を探しながら進む。踏み跡がしっかりとあるとの情報も聞いたが、最初のこの辺りはわかりづらい。尾根に出たら左方向へと進む。

登山道の右側には「立ち入り禁止。違反者は罰金 10 万円」との看板があり、かなりいくつも立っていた。きのこが採れるため、厳重警戒している様子。監視用らしいテントもあった。

急登はしばらく続いたが、青ナギの手前でいったん平坦となる。青ナギは大きな崖のようになっており迫力があった。

お天気は相変わらずの霧で、休憩すると半袖+アームカバー+ウィンドウブレーカーでは寒いくらい。

しばらく平坦な道が続き、もう急登はないかと思っていたところ、再び急登が出てきて登っていく。無名峰を超え、P3 ルンゼへ。自分たちは直登ではなく巻き道から進むが、それでもやはり岩場で落石も起きやすく、一部セルフビレイを取りながら、慎重に進んだ。

いくつか岩場を乗り越え、最後は岩場から直接頂上へ。白毛門の時もそうだったが、この、岩場から直接頂上へ出るのは、バリエーションルートで登頂した実感があって嬉しい。

頂上からの眺望は…霧の状態が続いており、全く何も見えなかった。赤岳なんてすぐ近くにあるはずなのに全く見えない。残念に思いながらも、無事山行が実現できただけでもありがたいとも思いながら、昼食を食べた。

下山は御小屋尾根から下山した。しばらくはかなりのガレ場で非常に歩きにくかった。自分もリーダも何度も転びながら下山した。

途中からは道もよくなり、天気も晴れてきて、とても穏やか。最後は犬の散歩をしている人と会話し、「この子は昨日はトリュフを採ったんですよ」なんて穏やかな会話も。

景色はあまり見るができなかったが、貴重なバリエーションルートを歩いてとても有意義で楽しい山行だった。